

子育て家庭と区長のタウンミーティング（子育てカフェ）で寄せられた主な意見

◎子どもの居場所・遊び場に関する意見
・児童館の利用や設備に関すること
日曜・祝日に遊びに行ける児童館や子育て広場が近くにない。ふらっとサンデーを全館で実施するなど、開放日を増やしてほしい。
児童館の日曜開放が始まったが、利用できる部屋が限られてしまっている。日曜開放時の開放する部屋も増やしてもらえると良い。
児童館には大きい子が遊べる設備やおもちゃが少なく、児童館離れが進んでいるのではないか。
・公園の利用や遊具に関すること
じゃぶじゃぶ池の開放期間が短い。暑い時期が長期に及んでいるので、開放期間を長くしてほしい。
公園再整備のオープンハウスでは、子どもたちの声が反映されて嬉しかった。これからも、子どもたちの声を公園整備に取り入れてほしい。
公園でサッカーやバスケットなどのボールを使った遊びや、スケートボードができる場所を増やしてほしい。
芝生や木が多くある、広い公園を増やしてほしい。
どこの公園にも似たような遊具が多い。公園ごとに特色のある遊具、乳幼児でも楽しめる遊具や泥遊び場などを配置することで、より楽しめる公園になると良い。
外遊びの仕方が分からない子どもが多い。プレーパークの開催回数や開催場所を増やせないか。
・その他、子どもの居場所・遊び場に関すること
室内で遊べる場所がほしい。体を動かせる場所や、子どもたちが集まってゲームができたりする場所があると、雨の日や夏休み中などの子どもたちの居場所になると思う。
中野駅の周辺に、子どもと遊べる場所が増えてほしい。
中高生達の居場所、特に勉強できるような場所を増やしてほしい。

◎子どもの預かり関連サービスに関する意見

・ 保育園、児童館での一時預かりに関すること

児童館での一時預かりの実施施設を増やしてほしい。普段通り慣れている場で預かってもらえると、子どもにとって抵抗感なく、利用することができる。

児童館での一時預かりでは、給食（昼食）の提供をしてほしい。

区立保育園だけでなく、私立保育園の一時保育も一括で予約できると良い。

・ 病児・病後児保育に関すること

病児・病後児保育は利用可能な施設が少ない。特に病児保育は江古田にある1箇所のみで実施しており、区南部に住む家庭はほぼ利用できない。実施施設を増やしてほしい。

子どもが急に体調を崩し、当日・翌日に病児保育が必要になったとき、手続きが煩雑で利用することが難しい。突発の利用がしやすくなってほしい。

・ ベビーシッターの利用に関すること

就園児がいる家庭でも、ベビーシッターの一時預かりを利用したい

親が病気の際にベビーシッターを使えるようになると良い。

・ その他子どもの預かりサービスに関すること

保育園や児童館の一時預かりだと都度予約が必要で、利用しづらい。週に2、3回程度の頻度で、定期的な預かりを利用させてもらいたい。

当日急に預かりが必要になることがある。短時間でも、予約なしで預かってくれるようなサービスがほしい。

ファミリー・サポートは利用までの手続きが煩雑。登録会への参加が必須なうえ、利用の2週間前迄に申込みをしなくてはならない。協力会員とのマッチングを改善し、利用前日でも申込みできるようにしてほしい。

◎子育て支援ハンドブック「おひるね」に載せてほしい情報

・載せてほしい・まとめてほしい情報

健康診断や予防接種など、母子手帳に載っているような情報の掲載は不要ではないか。

児童館や子育てひろば、すこやか福祉センターはどんなところで、どんな機能があるのか、紹介するページを設けてほしい。

子どものことだけでなく、親自身の困りごとを含めて、どんな悩みを、どの窓口で相談できるのか分かりやすく載せてほしい。

その他、以下の情報を分かりやすく載せてほしい。

- ・乳幼児親子交流の場
- ・パパ向けの情報
- ・ミニリーダーの活動内容や予定
- ・地域の子育て支援団体
- ・障害児への支援制度
- ・おむつ替えや授乳ができる場所（赤ちゃんほっとスペース）や子ども連れの親を歓迎してくれる飲食店
- ・ベビーシッターや一時預かりの実施情報

・誌面やレイアウトの工夫

文字が多いと読みづらい。図や写真、マンガやイラストを多用して、読みやすい冊子にしてほしい。

妊娠届の提出時に「おひるね」をもらっているが、同時にもらう書類や冊子が多く、読まれていないのではないかな。もう少し後の時期に配布できないか。

各記事にQRコードを付け、詳しい情報はホームページで確認できると良い。

WEB版の「おひるね」を発行し、情報を検索しやすくしてほしい。URLや記事にホームページのリンクが付けられていると良い。

情報ばかりで、いざというときにしか開かない。「こんな時には、ここをみるといい」といったフローチャートを載せるなどして、読んでもらう・手に取ってもらうための工夫を。

施設の住所が書かれていても、どこにあるのか分からない。「病院」「子どもの遊び場」「子どもの預かり先」など、カテゴリごとにマップを作り、自宅付近でどんな施設があるのか、分かりやすくしてほしい。

施設のイメージがわきやすいように、児童館や公園などは写真を大きく載せてほしい。

◎その他、中野区の子育てサービスに求めること

一時預かりや習い事などの有料子育てサービスに使える「子育て応援券」を発行して、子育て家庭の支援をしてほしい。紙のチケット制ではなく、電子マネーのような形式でもらえると嬉しい。

子どもが遊びに行く施設（公園、児童館など）のトイレにはお着換えボードを設置してほしい。